

# JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

〒550 大阪市西区南堀江1-26 南堀江スカイハイツ1201号

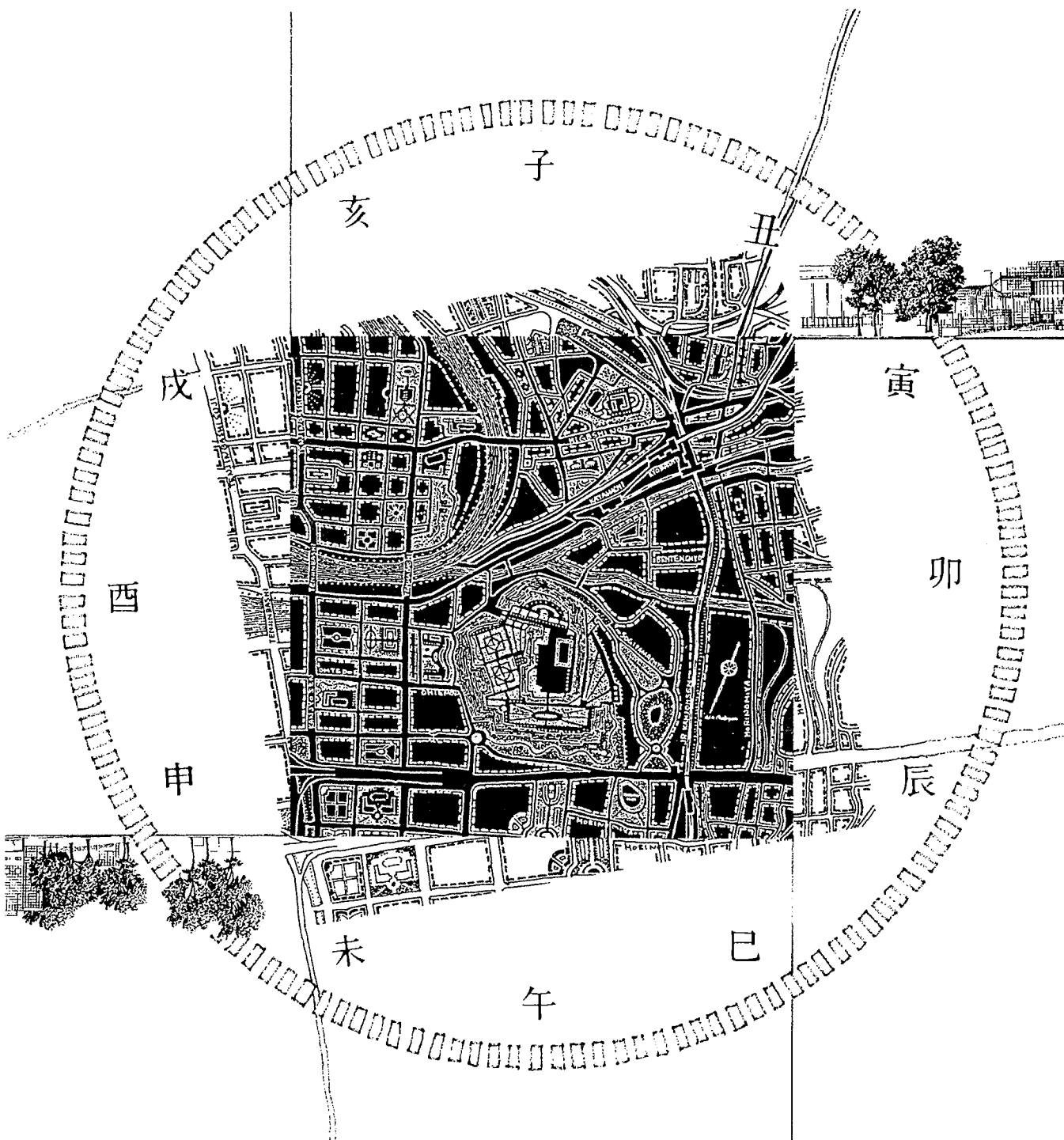
☎ 06-584-0680

昭和63年3月

## 第14号

＝昭和63年度総会特集＝

(ゴルフコンペ・バスツアー)



# 63年発刊に際して

通常総会も27回、ユニークな運営のもとに終了。

早や2ヶ月が過ぎました。

関西支部からも多数の参加を頂き、決算、事業報告や新役員の選出、事業計画、予算の承認等、通常の内容で経過しました。

新年度へ向けて、関西支部も役員会を開き、

前年度の流れを受けて、担当理事による委員会編成に入り、

事務局よりご連絡の通り、

新会員の方々も多数参加をお願いして、強力な委員会を決定しました。

情報委員会も、基本事業は機関誌JCD-KASAIの発行を年4回と、

委員会主催の集会等を計画して、

地域会員に対するメリットを常に考え、計画を推進します。

機関誌に掲載する情報も

会員個人のアクティブなPRとして積極的に活用して下さい。

強力な編集委員が皆様の情報をお待ちしています。

商環境デザインの作品発掘。

新入会員の推薦

各種集会の企画と実施

賛助会員との交流など………

とにかく会員同志の接触を深めてゆくことで、

会のメリットも創られると考えます。

新年度に入って、皆様のご活躍をお祈りします。

情報委員会 担当理事

太田真昭

## ● CONTENTS ●

■ 総会報告 ……………	太田真昭 ……………	3
□ バス研修ツアー ……………	原田隆夫 ……………	5
□ ゴルフコンペ ……………	蔭山利夫 ……………	9
■ 旧神戸商工会議所ビル ……………	小宮容一 ……………	10
保存運動顛末記		
■ 福寿司（スッポンと寿司） ……………	菅野哲爾 ……………	12
■ VIVA-MEZZO ……………	原田・河口 ……………	13
■ MY-HOBBY ……………	藤谷明正 ……………	14
■ 委員会だより ……………		15

一表紙デザイン …………… 桃田紀男一

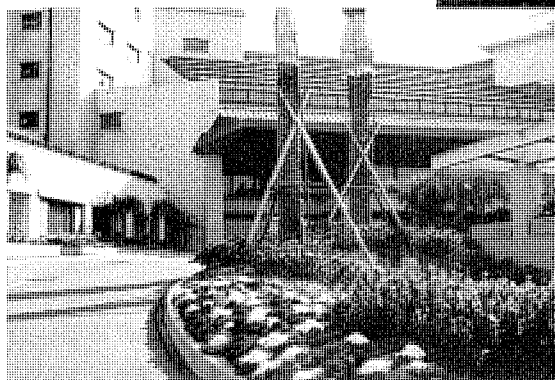
## 広告索引

松下電工株式会社 ……	裏表紙
小泉産業株式会社 ……	6
株式会社 エンドー ……	7
株式会社 キノシタ家具 ……	9
マックスレイ株式会社 ……	11

## 陽光を受けて 南伊豆 下田・松崎町・稲取 G.C. 昭和63年度(第27回)通常総会 開催

太田真昭

ホテルジャパン下田



第27回を迎える昭和63年度通常総会は、関東支部の運営委員会によって開催されました。今回は役員選挙、承認等の総会で、前回大阪で開催された都心型と打って変って、伊豆下田の陽を受けたメンバーシップ・リゾートホテルでジャパントータルクラブが開発した最新のホテルが会場で「こんな機会で見られない環境と施設」をテーマに開催されました。

参加人員は79名、委任状出席数と合算して会員総数660名の過半数で本会の成立を運営委員長 木許会員が報告、山本関東支部長の歓迎の挨拶ののち高村理事長の挨拶につづいて、議長選出を推挙で、黒川会員が議長に、要会員が副議長に指名、両議長着席で議案審議に入りました。議事録署名人に田沢、小谷両会員を指名、第1号議案の昭和62年度事業報告を西脇副理事長が、第2号議案、62年度決算報告を奥脇専務理事が行い、今西監事の監査報告ののち議決、拍手と挙手で承認されました。

62年度をふり返り、第一回のアジア都市商環境会議 '87-1大阪を成功させ、北陸支部結成の機を盛大に都市商環境会議を、富山で

多数の参加者を集めて大成功裡に終わったことが特に記録に残るのではないかと思います。その他通常の事業と、支部主管の特別事業など、関西支部の環太平洋商環境フォーラムや九州支部、博多港湾開発への提案参加等活発になって参りました。

本部、関東支部事務所のリニューアルも完成し、発展の一途を歩んだ62年度ではありますが、今西監事の発言にもありました「今後は各支部共、新会員の増強、健全な予算と事業計画の実行で協会の運営が大切である」とのご意見から、組織も現在関東支部で東京圏外の北海道、東北、北関東、湘南、東海、北越、甲信の地域が発展して支部に昇格できるか、本部ではアンケートをとり検討段階に入っています。

次いで役員選挙による理事、監事、候補者の承認、休会してコーヒープレーク、記念写真の撮影、新理事による正副理事長、常任理事、支部長、専務理事の選任等の報告、承認を得て新理事長挨拶となりました。

この時、名誉会員に関西支部から山家一千代評議員と、関東支部 浜秀孝、遠藤雄二会員も共に推挙されました。

## 昭和63年度(第27回)通常総会

選挙結果、関西支部は62年度と団体勢で副理事長 西脇顕正、支部長 大菅満義、常任理事に赤松良一、要信行、太田真昭、監事に今西茂雄が決定し今后共新役員会により夫々の委員会も充実した編成を推進してゆきます。

本年度は商環境会議をプレ世界デザイン博の名古屋で、又夫々の支部ではセミナーを始め活発に、公的機関との資格制度の普及の推進協力、支部組織の拡充施策(関東支部)と正会員、賛助会員の拡充を重点施策として展開します。又本年は会員名簿の新規発刊の年に当り、更に会員の協力をお願いする時期になっております。

会議は1部(関東)山家、(関西)植澤会員などから、理事長互選等の質問もあり、今後の理事会審議によって審議すべく、議長の閉会宣言で通常総会も無事終了しました。

強風の晴れた伊豆特有の天候の中、会場も熱気が溢れ、有意義な総会となりました。続いて明日研修ツアーの目的である松崎町、長八美術館の設計、及び町の活性化を環境計画に採り入れて、歴史と風土の町に於けるモデルケースとまで言われた建築家、石山修武

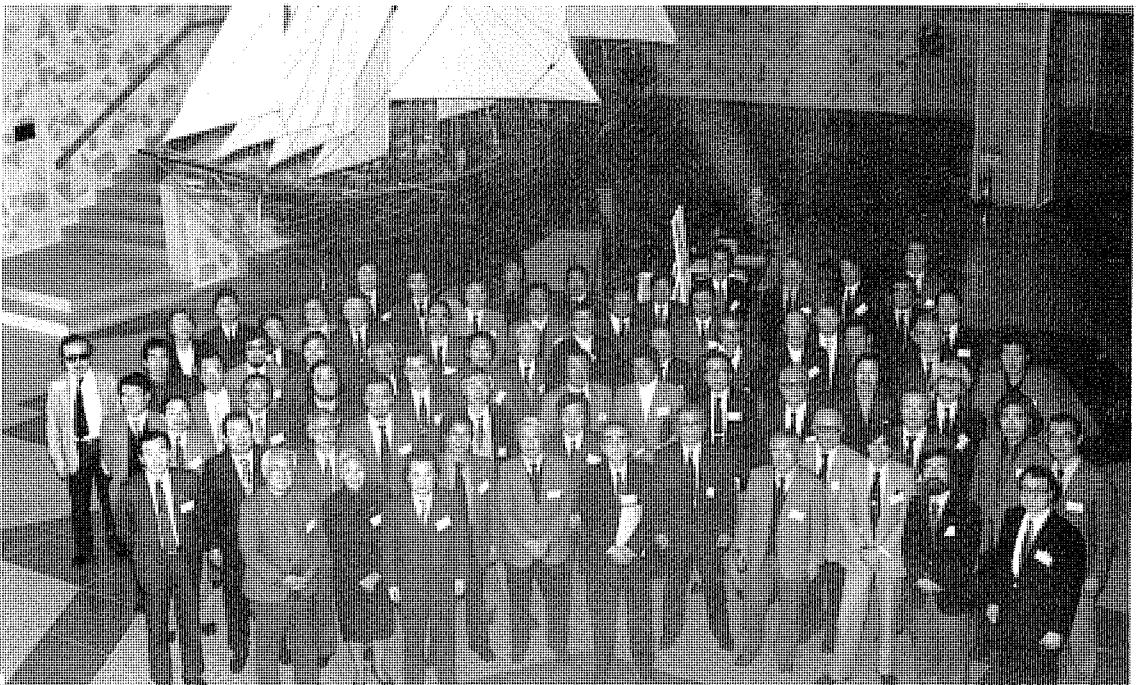
氏の講演をスライドによって聴講いたしました。各誌に紹介されてはいますが、生でご本人からの解説や意見を聞いて、この松崎町の仕事と並行して、気仙沼の街にも漁業から文化歴史の情報空間の堀りおこしを、街の景観から計画する、氏の大きいエネルギーを感じ取ったレクチャーでした。

総会スケジュールにしたがって、宴会までの時間、各宿泊部屋に入り、休憩、一風呂浴びたあと、賛助会員も同席のうち、伝統芸能「下田だいこ」保存会の熱演や、食卓の海の幸に、しばし懇談の時を過しました。

伊豆のリゾート地に於ける立体的な、総会ツアーは2日目の研修バスツアーとゴルフ大会に向けて更に広がって参ります。深夜迄各自、メンバーと語らった後、2日目の朝、地下3階の洞窟温泉に入り、湯舟に肩までつかって遠く太平洋の水平線から昇る日の出をみた感じは、充実感そのものです。

本年度も、この総会を期に、スタートしました。会員の皆様の絶大なるご協力とご多幸を祈ります。

▼1階ロビーにて



## 伊豆の“長八美術館”と “松崎町の町づくり” 見て歩き

各メディアで大々的に取り上げられた“長八美術館”を有する松崎町は、伊豆半島の南西に位置する小さな町であった。町の中央の河口は東から流れて来た那賀川と、西からの岩科川の合流で天然の良港となっている。

三方を山に囲まれ、西を海に開いた気候温暖にして風光明媚なこの土地は、早朝の静寂と無言のたたずまいで、異質で無作法な訪問者を受け入れてくれました。

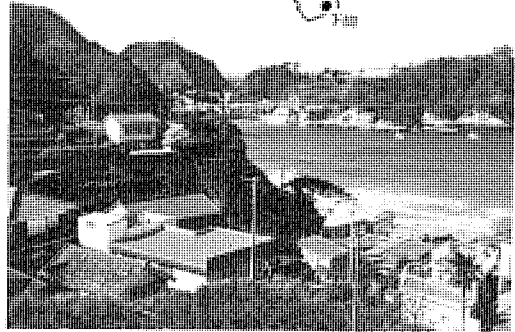
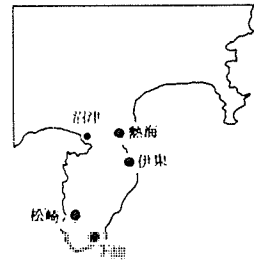
昨夜の宿泊地、観光と温泉の街 下田の疲れた早朝風景を脱出して来た闖入者の目に、なんとこの町はあまりにも透明で、自然の鼓動を感じさせることか。自然と人間の闘争では成立しえない自然の中の文化の佇まいは、その土地の歴史に関わるもの程生活に潤いをもたらすものである。

その意味でここ松崎の文化の中心は、この町が生んだコテ絵の名工、入江長八の作品を展示する“長八美術館”といえるだろう。

60年の吉田五十八賞に輝く、こここの美術館を開館前に拝観できるといふ松崎町の特別の好意も、設計者である石山修武氏の現場レクチャーを頂けるといふさらなる好意で、まず先に岩地の地区へ!!

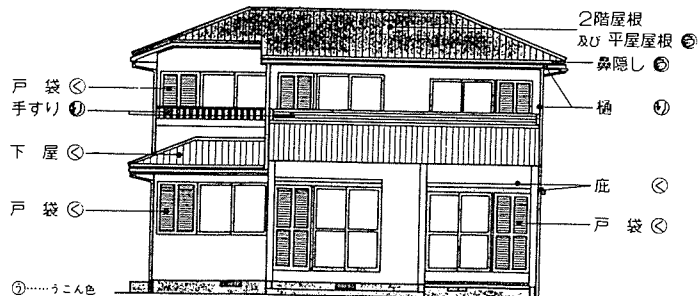
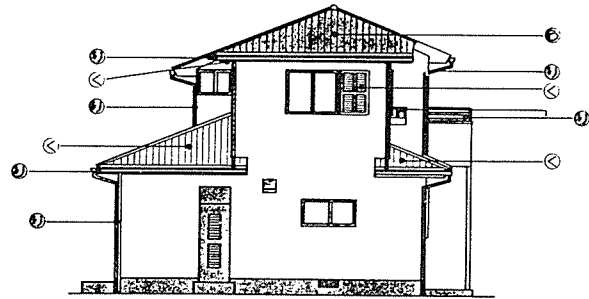
住民参加の町づくりは、住民が実際に動く事が理想である。「東洋のコートダジュール」を目指してこの集落を黄色く塗りつぶす依田町長のアイデアは、俗っぽいものと考えられがちであろうが、岩地は遠洋漁業の基地である。住民の多くが船の塗装の経験者であり、また塩風のために家屋も3年ごとには塗り替えが必要なこと、希望する家にペイント無料配布のシステムと119軒の集落の約半数54戸が民宿であることが、実

63. 1. 26  
原田隆夫



利としてこの計画を容易に進行させたと思われる。

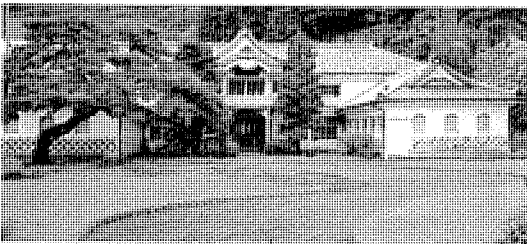
この計画の成功を握る鍵は、いつにカラーのセグメントとその施工個所にかかっている。色の選択は、①日本の伝統色②土地になじむ色③若い感性にアピールする色④絵を感じさせる色⑤イメージが強く話題になる色——を条件として、伊豆海岸の夕陽と富士に映える4色が選ばれた。との説明を聞く。



①……うこん色  
②……くちなし色  
③……りまほうしゅらちや色  
※は原則としてアイボリー

雲見、波勝崎に向かう国道 136 号線は西伊豆独特の荒々しい崖を見おろし、強い西風を平然と受けて立つ濃い緑の間を縫って走っている。

トンネルを潜り、いくつかのカーブを曲がった時、突然目に飛び込んできた鬱金色の



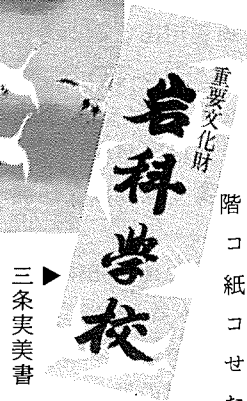
集落。気せずして異口同音に「オー」と感嘆の声。大げさでなく確かに、紺碧の海をフロントに、濃緑色の山を背負った岩地の集落は、緩い旭光に映えて若々しい躍動を感じさせてくれる。

土地の特色、環境を上手く生かせば、コストに関わらずこんな感動を提供出来る素晴らしい教材である。

住民の手によってランニングしていくこの計画は、いつか石山と云う建築家の名前を風化させてしまうだろうが本当の「町おこし、村おこし」とはこんなものなのかも知れない。

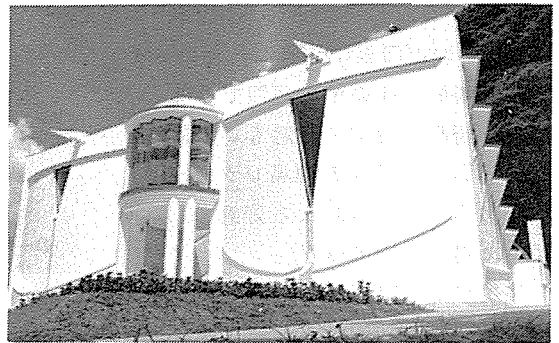
さて次の目的は重文に指定されている岩科学校、明治 13 年に建てられた初期洋風建築の小学校で、甲府の睦沢学校や、松本の開智学校について古いものである。社寺建築の様式をとり入れたなまこ壁の建物で、一部洋風をとり入れた美しさもさることながら、やはり

筆者の関心はこの建物の中に生き生きと残る、左官の神様とまで云われた入江長八の作品であった。岩科学校の 2 階西之間の欄間に描かれたコテ絵による千羽鶴、美濃紙を口にふくみぬらして、コテ板の上で漆喰とまぜ合わせて肉づけして仕上げられた、作品は重量感をもって見る者をして魅了させずには置かないものであった。



三条実美書

## 【伊豆の長八美術館】



NEW WAVE, A SENSE OF LIFE  
**KOIZUMI**

小泉産業株式会社

本社 〒541 大阪市東区備後町4丁目43 TEL 06-262-1751/照明事業本部 〒541 大阪市東区備後町3丁目長谷ビル3F TEL 06-262-0861  
近畿照明営業部 〒579 東大阪市宝町 1 2 - 5 TEL 0729-82-1141/大阪 LCR 〒541 大阪市東区備後町3丁目長谷ビル3F TEL 06-264-0947

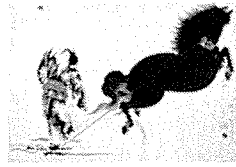
美術館の建築計画を聞いた石山氏はまる1年を費して独自のプランを作成、この時点では長八に対するまったくの興味からの行動で、その成果を「左官教室」に発表、それが町の建築推進委員会の目にとまって、設計依頼を受けることになったというこの建物は、現代の左官職の全面的な協力を受けて、名工を集めることに成功、随所に目を見はらせる技術の結晶を見ることが出来る。

石山氏のレクチャーによると左官の技術は全国でもこの地元静岡県が一番劣っていたそうだが、しかし全国の名工が集まって一諸に仕事を進めることによって格段に水準が上がったと聞いた。技術教育としてのOJT効果が非常に有効であるとの証明であろう。またこれら技術の質は企画、計画の成否を左右する重要な要素であることを痛感させられる建物である。

美術館は展示室2棟を有し、西洋のフレスコに優るとも劣らない壁画技術として、芸術界でも高く評価されている貴重な長八の作品、約70点が集められています。



唐詩春暁の図・近江のお兼  
ホーロクの静御前・白衣観音など広く知られた作品を主体に、様々な力作を観賞、受付で虫眼鏡を用意しているほど緻密な細工は、見る者をして感動させずにはものばかりであった。彼入江長八は左官技術を10年余り身につけた後、狩野派の絵と、彫塑の技を修めて左



▲近江のお兼



▲ホーロクの静御前



▲白衣観音

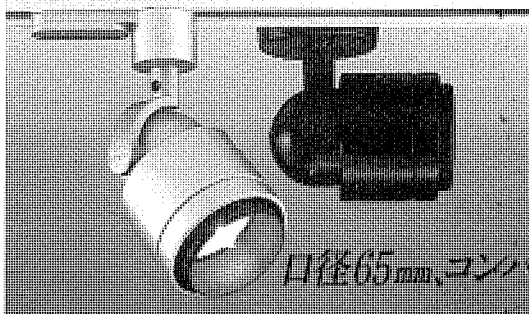


▲唐詩春暁の図

官の技に応用、漆喰を以って絵を描き或いは彫塑して華麗な色彩を施し、新機軸をひらいて独特の芸術を完成、東京にも数多くの名作を残していましたが、関東大震災において全んど焼失、非常に残念と云わざるをえません。

我が国の左官技術の発展は時代に即応しており、昔日の漆喰彫刻は独特な之官の特技なのです。

その意味でも現代技術の粋と、昔日の特技を一堂に見られる、この美術館の偉大なる価値を痛感いたしました。現地レクチャーを頂いた石山氏に紙面でお礼申し上げます。

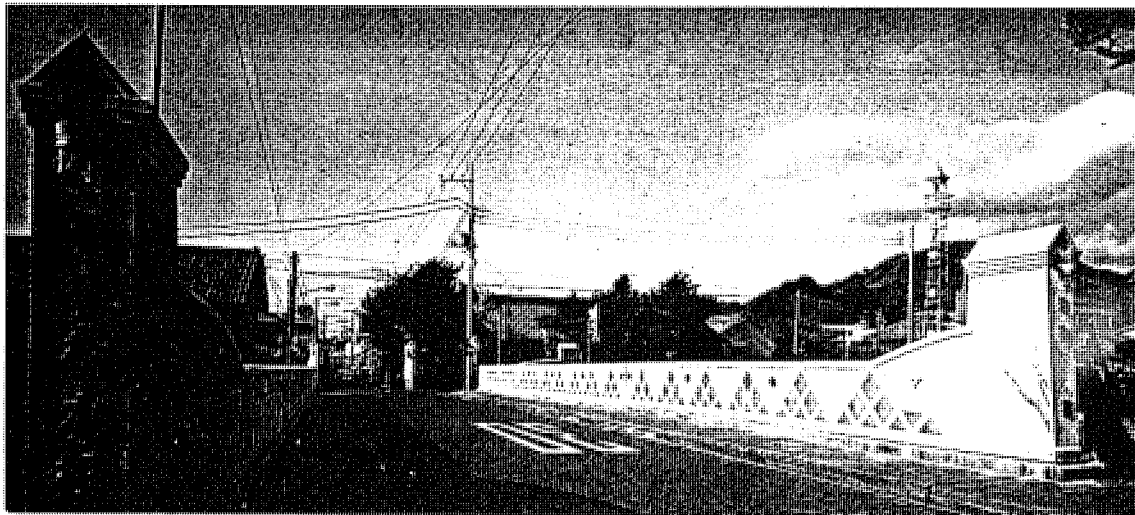


小型化の限界を追求した超小型スポット、アルファ・ミニ。口径65mmのコンパクトサイズとコードレスのシンプルデザインで、ショーケースなどの狭い場所や低天井スペースなどに最適。豊富なラインナップで、プランに合わせて選べます。

Lighting  
**ENDO** 株式会社 遠藤照明

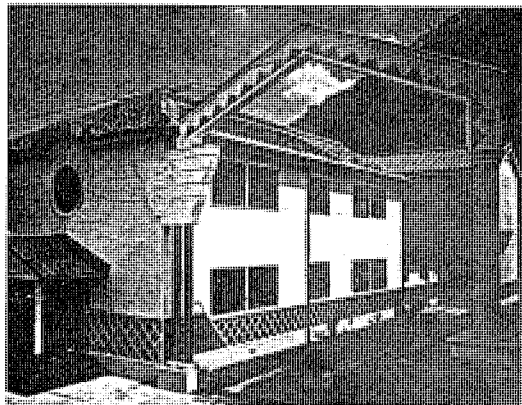
本社 TEL06(973)1250 FAX06(973)1252  
東京SP TEL03(632)5480 FAX03(632)7329  
大阪SP TEL06(768)7624 FAX06(765)1263

口径65mm、コンパクト&シンプルを追求。アルファ・ミニ

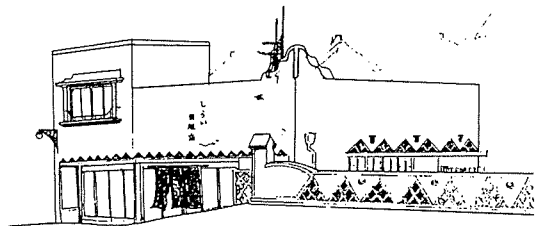


さて、松崎町の町づくりであるが現代の都市計画を頭に描くと、まったくイメージの違うものになる。石山氏自身「あそこのおじさんの顔色にも気をつかう計画なんだ」と言われる。最大のエネルギーを注入する都市計画に比べると、まさにグリタ計画と云えよう。実現できる要素があれば、電柱や橋はもちろん商店の暖簾、公衆便所まで断片的に進められている。それらは日常性の次元でとらえられる為、共通したイメージを形づくるのに役だっていると笑っておられた。

現在、松崎町の町づくりは、集客力を持つ美術館を、対外への顔とし、なまこ壁通りから商店街への連なりを、地域を中心とする二重構造をもっているが、断片的に進められているイメージの形成が住民の意識を誘発し



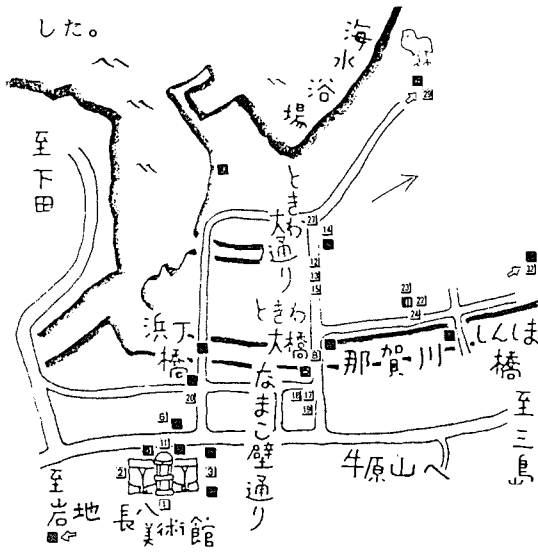
▲団体事務所のフェサード



▲なまこ壁通りのモチーフときわ大通り

て、商店街の駐車場、川沿いの修景などの行動に表われ初めた。この様なイメージをばらまく挑発こそ、住民の意識高揚へのアプローチと云えるだろう。

本当に有意な一日であった。お世話を頂いた関東支部の委員の方々ありがとうございました。



▲石山修武氏の町づくり個所



# JCD-ゴルフコンペーション

JCD ゴルフコンペーション

63年1月26日 JCD ゴルフコンペ

(稲取ゴルフ・クラブ)

63年1月26日

蔭山利夫

その日の伊豆の空は快晴、風もなく、好コンディション。7組のメンバーは、東西対抗戦の重みを感じつつ熱戦をくりひろげました。シーサイドフース特有のきつい芝目に、4パットが続出でしたが、ベストグロスは西の土居康宏氏(四国支部)が37.44。NET. 73.8の好スコアで手中におさめられ、東西戦は残念ながら、関西側の出席が少ない点もあって16.8の差で惜敗、次回の必勝を祈りつつ、クラブハウスを後にしました。お世話いただいた、東京会員の松岡氏、幹事の皆様にお礼申し上げます。

ドラコン №6 小杉

№1 土居

ニアピン 岡本、藤野、蔭山

赤池

水平 佐藤

大波 江藤

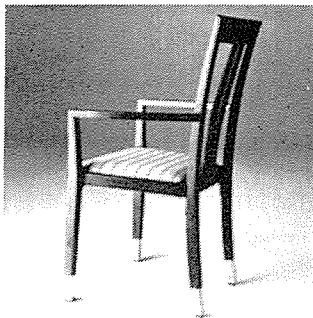
小波 松岡

東西対抗 (上位5名)

関東 365

関西 381.8

NAME	06.9	MT.9	TOTAL	HD	NET	RANKS
東 石雄	50	50	100	22.8	77.2	優勝
横尾 利夫	45	41	86	18	68	
藤野 健二	54	52	106	24	82	
蔭山 利夫	45	48	93	14.4	78.6	
木許大三郎	60	57	117	37.2	79.8	
伊森 正夫	45	43	88	13.2	74.8	
桧垣 嘉輝	57	60	117	33.6	83.4	
栗原 祥光	49	57	106	27.6	78.4	
江藤 一人	51	43	94	18	76	
山田 克彦	51	46	97	24	73	4位
渡辺 重志	52	60	112	37.2	74.8	
土居 康宏	37	44	81	7.2	73.8	6位
岡本 清之	57	55	112	36	76	
小谷 実	50	46	96	20.4	75.6	
黒川 恭一	53	52	105	27.6	77.4	
松岡 国夫	45	44	89	15.6	73.4	5位
日下 康孝	45	48	93	18	75	
八嶋 照行	49	56	105	32.4	72.6	3位
中川 泰秀	56	51	107	28.8	78.2	
赤池 保寿	79	75	154	40	114	
佐藤 征雄	46	46	92	15.6	79.4	
赤松 良一	48	47	95	18	77	15位
桃田 紀男	46	59	105	27.6	77.4	
植沢 俊一	51	48	99	18	81	
田沢 哲夫	48	48	96	21.6	74.4	7位
加舎 英樹	55	47	102	26.4	75.2	
小杉 正伸	47	54	101	22.8	78.2	
武石 馨	48	44	92	20.4	71.6	2準優勝



神秘の響。

アホール **ALORD**



**KINOSHITA**

株式会社キノシタ  
 本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06-644-5541代  
 東京営業所 〒116 東京都荒川区東尾久4-52-9 木全ビル1F ☎03-810-4600  
 配送センター 〒556 大阪市浪速区橋草3-5-6 ☎06-562-6613

# 旧神戸商工会議所ビル保存運動顛末記

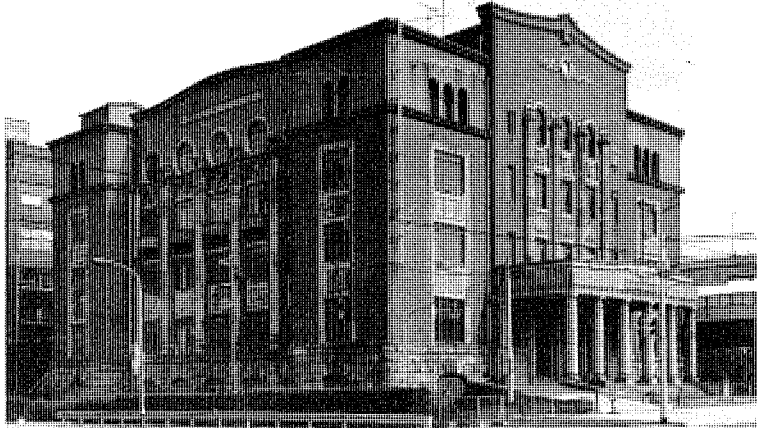
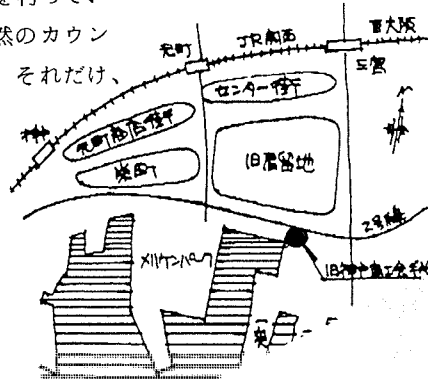
小宮容一

1986年12月、神戸市の所有となっていた、旧神戸商工会議所ビルが、隣接する義勇海運株式会社に売却・解体される決定が発表された。この報が街づくりや建築保存運動を行っている市民グループの間を駆け巡った。突然のカウンターパンチに、大きな動揺であったが、それだけ、保存運動へ向けての結束は早かった。CDC(シティ・デザイン・コミュニティ)神戸の建築を考える会、神戸港を考える会が集まって、「旧神戸商工会議所ビル保存を願う会」(以後願う会)が結成された。12月18日に義勇海運への保存要望書を皮切りに、全面保存有効再利用に向けてお願い運動を開始した。

神戸市旧生田区(現中央区)のJR線の浜側、旧居留地の栄町界隈には、明治・大正・昭和初期に建築された、いわゆる近代洋風建築物が約30棟ほど現存している。その内でも、この旧神戸商工会議所ビルは、特異な様式を持つビルとして、神戸港発祥の地(網屋吉兵衛の船塀場跡、勝海舟が開設・坂本龍馬が塾頭であった海軍操練所跡)に、街のシンボルとしてあるいはランドマークとして建てたものである。竣工は昭和4年(1929年)、神戸の商工業隆盛の時期である。設計は神戸大学工学部の前身である神戸高等工業学校校長であった古宇田實(後に神戸大学名誉教授)である。様式は、日本の伝統的な建築意匠(獅子頭、花頭窓、墓股などの装飾)を大胆に用いた擬和風ともいわれる近世様式である。

年を明けて、1987年、願う会は、幾度となく会合を開き保存に向けてのアイデアを話し合った。ポートウォッチング・ビルウォッチングとデモンストレーション。神戸大丸前や神戸市立博物館前での署名とフェンド

(募金)の運動を行った。会報として「旧神戸商工会議所ビル保存を願う会通信」も発刊された。3月7日には、京都大学名誉



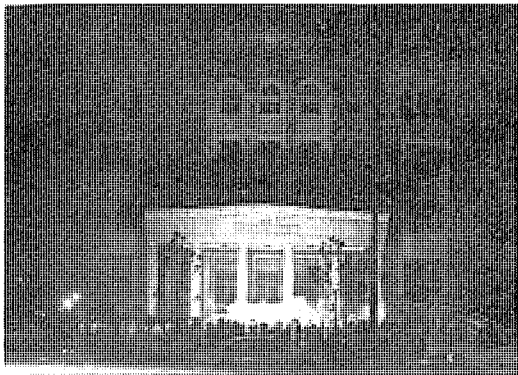
▲有りし日の旧神戸商工会議所ビルの勇姿  
教授西山卯三先生の講演とパネルディスカッションによるシンポジウム「既視感海一旧神戸商工会議所ビルを通してウォーターフロントと都市空間の歴史性と文化性を考える」を開催した。80名をこえる参加者と共に、熱のこもったディスカッションが行われた。各報道機関は、願う会の主旨をよく理解し、テレビ、新聞紙上に取り上げ、市民の関心はさらに高まった。

この時、「旧神戸商工会議所ビル再利用コンペ」の募集が発表された。このコンペは、通常なら持主が主催する事業コンペの形であるが、願う会が主催し持主にプレゼン

トするという変則的で新しい方式となった。

6月には、サンデイベンターや子供達の参加で会議所ビル写生大会を行った。

7月にコンペの審査会が行われ、最優秀作品1点（神戸市在住の薬剤師）、優秀作品2点（西宮市在住の神学生、東京都三鷹市在住の建築家）が選ばれた。元町商店街の画廊で受賞式が行われ展示された。この時、会議所ビルの写真入りのテレホンカードが製作され販売された。



▲懐中電灯でライトアップされた商工会議所

こうした運動の間に、神戸新聞紙上でこのビルの保存価値を認めない大学教授とお願いする会メンバー他一般の文化人との論戦がくり返され、大きな反響を呼んち。

義勇海運へのコンペ応募作品プレゼントは、止よく受け取られ、保存のきざしが見えたかかと思えた。しかし、8月21日解体が、お願いする会に通知された。早速、義勇海運と会見、解体が強い会社決定であり、今は動かしがたいものと確認された。ここに運動の終局の感



▲解体中の痛ましい姿となったが、お願いする会の心おさまらず。地藏盆の夜、手に手に持った懐中電灯によるライトアップを行い無念の感と共にその勇姿をまぶたに焼き付けたのであった。8月30日の夕暮、すでに解体が始まり仮囲いにおおわれたビルの前で葬式が行われた。デキジーランドジャズバンドの演奏する「聖者の行進」を大合掌して、別れをおしんだ。

この時、お願いする会は解散、新たに、旧居留地・栄町界隈に残る近代洋風建築物と街並保存へ向けての運動体を作ることが宣言された。後に「港まち神戸を愛する会」としてこの旧神戸商工会議所ビル保存をお願いする会に、心をついにしたメンバーが中心になって、現在活動が続けられている。

尚、解体後この地は、駐車場として利用されるにとどまっている。

「港まち神戸を愛する会」へのお問い合わせは、事務局（生活空間研究所内）竹山清明まで。☎ 078(392)5057

## マックスレイはメリハリのある空間を提案します。

SEシリーズはメリハリのある空間作りをコンセプトに新設計マルチミラー反射板を開発、シャープなエッジでキレのよい光を放ちます。熱線を約80%カットするダイクロイックコーティングで熱に弱い照射物にも最適。配光・ワット数・ボディーカラーなど豊富なバリエーションも、これからの照明プランに新しい拡がりをお届けします。



**maxRAY**  
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社  
本社：大阪市城東区鴛野西2-10-6 〒536 TEL.06-967-0140  
東京支店 03-791-2711 大阪支店 06-967-0123  
京都営業所 075-255-5663 福岡営業所 092-431-7824

## SE SERIES



集光タイプ

MS1257-54

寿司 スッポン・テッチリ 福寿司

設計 (株)総合デザイン企画 菅野哲爾

施工 (株)芝元工務店

(株)総合デザイン企画

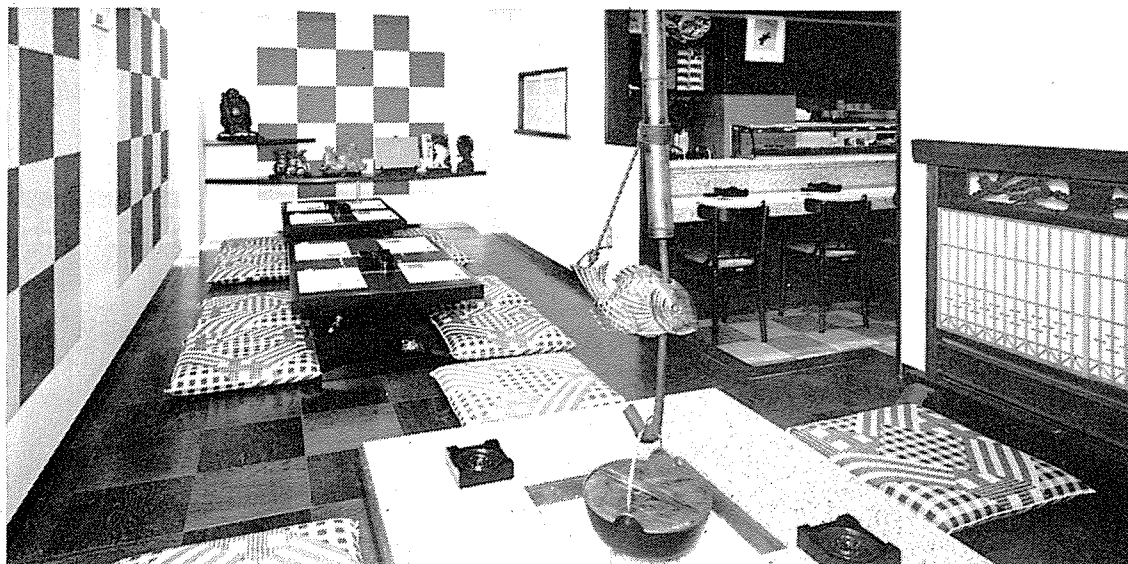


寿司・スッポン——考えつくイメージは、「和風」。今日、この世界では様々な和風が犯濫している。中年真っ只中の私には、理解出来ないし、又ついてゆけない世界がある。

この店の設計に当り、オーナーよりの要望は、石造りのカウンターという事だけで、その他はお任せするという事であった。

私自身、うまい肴をつまみながらの一献をこよなく愛している大好き人間である。

石のカウンターは、まだ我慢ができる、しかし、その他はどうか、自分がカウンターにすわり、又座敷にすわった時を、一杯飲みながら考えてみると、このような店になってしまった。私自身の和風である。



この店の設計イメージは何ですかと人に聞かれた時、自分自身何と答えていいのだろうか考え込んでしまう。

誌上に発表される時、全て最もらしい理論を展開するものであるが、このような店もあっていいのではないですかとしか言い様がない。幸いオーナーにも顧客にも何とか気に入ってもらい、何も問題は起きていないということが私自身すくわれているかもしれない。

このような無責任な店造りを誌上に発表するのは、はずかしい様である。お許しを下手に理論づけると何か反発をうけそうなので……。



こちら“遊びの工場・遊びの倉庫”

愛児堂 VIVA MEZZO/ビバ・メッツォ/

企画設計 榎布谷 原田隆夫・河口計彦  
 施工 榎布谷 金沢営業所

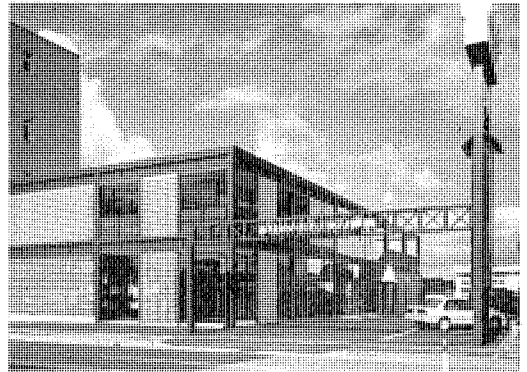
人間は本来遊ぶ動物である。遊びは子供の特権であるかの様に錯覚しているが、遊びを否定した時点で、人間は若さを放棄したのだと私は考えている。子供は遊びで知恵を得、大人は遊び心で成長をしていく……

千手観音という仏様は、千もある掌にそれぞれ一つづつの目をもっています。物を知り、覚えることに重要な役目をもつのは、手なのだとの教えでしょう。

その遊びを提供するおもちゃ屋さん、本当に胸をときめかしてくれているだろうか、物不足の時代と同じではないだろうか。

余暇の時代といわれる現代のおもちゃ(遊び)をテーマにしてビバ・メッツォは生まれました。

一階150坪にパーティ楽しむ用具、用品と遊びの用具、用品を提供、2階90坪の屋内、60坪の屋上を利用してコトの提案、つまりラジコンサーキットやビデオコンテスト、フォトコンテストなど、栄養を伴う行事や、仮装大会、クロンボ大会などのお祭り、マンガ図書館や家庭教師付き宿題塾、ミニシアター、貸暗室、貸ビデオ編集機などいろいろな企画を検討、行事化しつつあります。……2階の全部は完成していないが現在も着々と進行中。



富山市二口町に出現した  
 “遊びを創る工場”

VIVA MEZZO

1 F 495 m<sup>2</sup>  
 2 F 297 m<sup>2</sup>  
 屋上 198 m<sup>2</sup>



㈱藤谷デザイン事務所  
藤谷明正

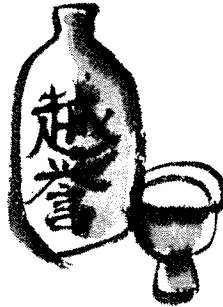
## ● MY HOBBY

つい先日、カナダ生まれの美人、ミス・ウインディが、ミスターフジタニのホビーは？と聞かれた。とっさにMY HOBBY IS DRAWING PICTURE & DRINKING とこたえたが、後で趣味らしい趣味がないなあとふと我にかえた。しかし、またまたこのようなページに遭遇してしまったのである。

## ● DRINK



バーボン、オールドクロウロックに限る。爽やかな口あたりと香り、アメリカの大地をゆったりと鳥が飛ぶようなスケールのテイスト。しかも値段がリーズナブル。



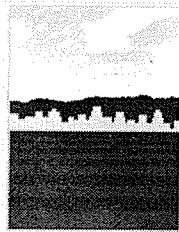
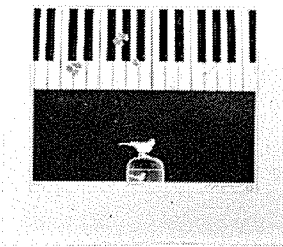
地酒、越前（こしのはまれ）

米どころ新潟の酒。夏は冷、冬はぬる潤、季節の海の幸、山の幸を肴にこれはもう格別。

以上我が愛するブランドです。皆さんも忙しい仕事の手をとめて是非ご試飲を！

## ● PICTURE

水彩、油彩の風景静物、水性ペイントの抽象と20代後半まで続いた。職能的なスケッチを描くようになって創作意欲がメッキリ衰えてしまった。しかし時々思い出したようにいろいろな試みを楽しんでいる。



エキゾチックタウン神戸は、美しいシーンやディテールがある。時間を見つけては愛用のニコマートで撮りまわった。分解と合成そして描き加え、30余点のシルクスクリーンの作品が出来あがりました。幸いにして海沿いのホテルの客室450室を飾ることとなった。



息子が昆虫に大変興味を持った時期がありました。甲虫や蟻地獄などいろいろと部屋で飼っていて、昆虫の絵もよく描いていた。ある時ふと思いついて子供には墨で描かせ、親父は別の場所でバックの彩色をした。あとでその上に刷込んだのがこの作品です。テントウ虫のほか、カマキリ、蝶など親子合作が出来あがりました。

# 委員会だより

## 62年度

### 情報委員会

- 11月6日(金) 17:30～ JCDルーム  
出席者 原田、蔭山、久保田  
・ JCD・KANSAI 第13号の編集打合せ  
11月30日発行決定に向けて

### 組織委員会

- 11月27日(金) 18:00～ (株)乃村工藝社  
出席者 要、里吉、南原、白井、市川、岡  
オブザーバー 大菅支部長  
・ 第3回の理事会報告  
・ 62年度忘年会について

## 63年度

### 本部・支部だより

- 昨年1月関西支部が運営しました、第1回アジア3国商環境会議に続いて第2回会議がソウルで6月17日開催決定しました。詳細案内は近く通知があります。近代施設の商環境を見学するコース等、この機会に参加して下さい。
- 関西支部集会在4月23日(土)に開催が決定。組織委員会が計画を推進しています。以上の参加をスケジュール調整で会員の皆様に今からお願いいたします。

### 役員会

- 2月10日(水) 18:00～ JCDルーム  
出席者 赤松良一、太田真昭、大菅満義  
要 信行、西脇顕正

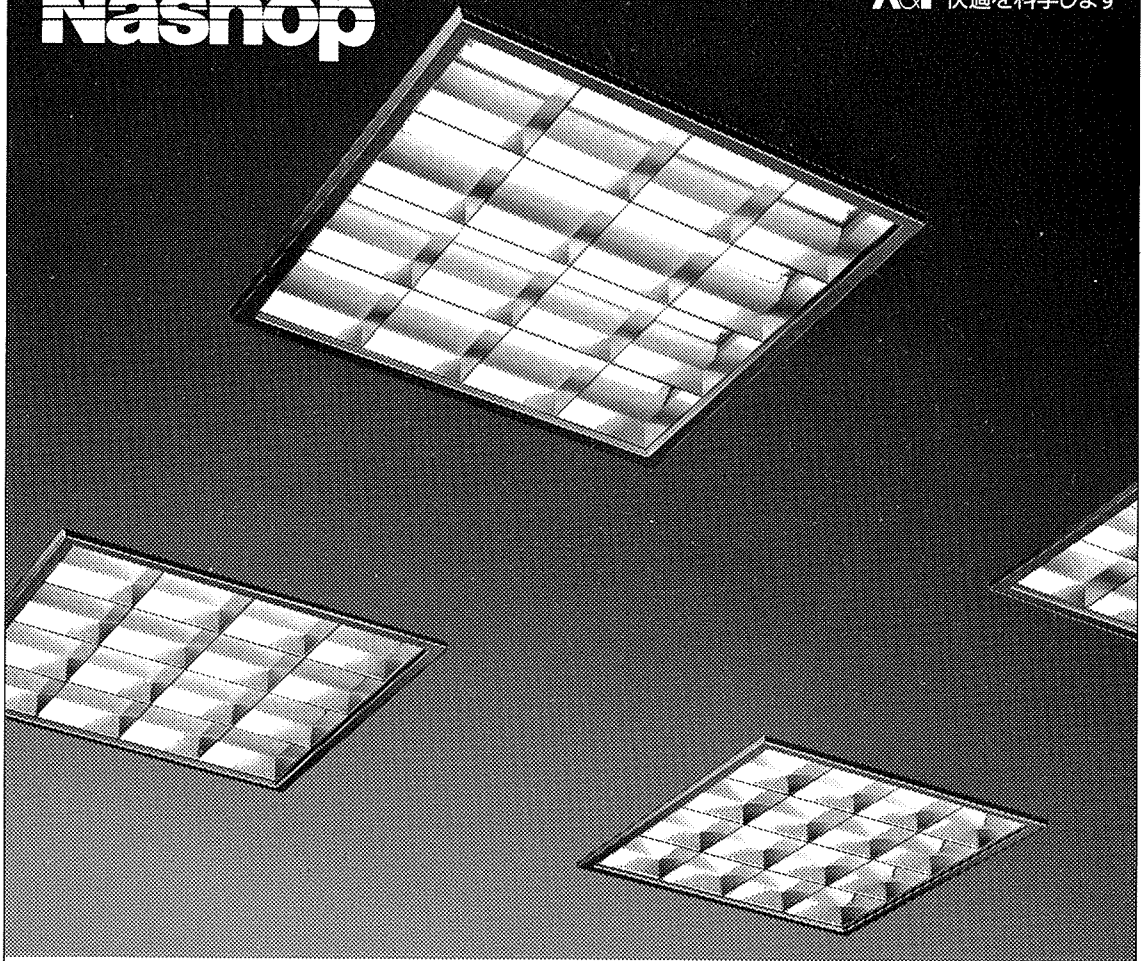
### 情報委員会

- 2月29日(月) 18:30～20:00 JCDルーム  
出席者 太田、原田、神戸、桃田、久保、川添、足立  
オブザーバー 大菅支部長  
・ 総会以后 本部主要会務の連絡  
・ 委員会編成 委嘱決定  
関西支部 情報委員会構成  
委員長 太田真昭(担当理事)  
副委員長 原田隆夫④ チームキャプテン  
" 蔭山利夫⑧ "
- |    |       |         |
|----|-------|---------|
| 委員 | 久保田博文 | } ④ チーム |
| "  | 桃田紀夫  |         |
| "  | 菅野哲爾  |         |
| "  | 栗林信夫  | } ⑤ チーム |
| "  | 久保茂   |         |
| "  | 足立和夫  |         |
| "  | 吉川浩   | } ⑥ チーム |
| "  | 高木茂四郎 |         |
| "  | 神戸一生  |         |
| "  | 原川公一  | } ⑦ チーム |
| "  | 老田徳廣  |         |
| "  | 川添稔   |         |
- JCD-KANSAI (機関誌) 発刊計画  
前年分14号は④チームに依り至急発刊  
15号-5月⑧チーム 16号-7月⑩チーム  
17号-10月④チーム 18号-2月⑫チーム  
● 本部及支部の事業計画の確認と情報委員会の計画検討

### 編集後記

- この14号は前情報委員会の、締めの仕事として2月末に発行の予定をしていました。昔から私達の職能は、ニッパチ地獄と称する試練を受けております。これを、今に遅れた言い訳とさせて下さい。
- 総会が終って早や2ヶ月、色あせた総会特集号をお届け致します。御笑止の上、御笑覧下さい。汗顔、汗顔……
- 冷汗大将、太田委員長の2月29日のハッパのもとに、厚顔④プロジェクト、原田、久保田、菅野、桃田、栗林が急遽編集致しました。
- 厚顔無恥の本領を発揮したため、強引な原稿依頼、うるさい追跡等、この号に掲載頂いた会員の皆様に紙上

- を貸りまして、陳謝、陳謝……
- 人間、火事場のクソ力……過去 私が担当した情報誌編集は2ヶ月を要していました。「やれば出来るものだな」と他人様の迷惑を考えない…破顔、独善…アレ、ワタシ1ヶ月ハアソソディタノ？
- 情報…熱烈歓迎  
次号は、品格⑧プロジェクトが5月に発行します。海外、国内の視察・旅行、ニュース、趣味、なんでも結構、短編長編とわず、とにかく情報を下さい。  
厚顔チームを2つ作らない為に。  
陳情、嘆願……④プロジェクト



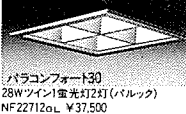
器具サイズ $\frac{1}{3}$ 。形は正方形。  
必要照度で選べる4タイプが揃いました。

松下電工株式会社



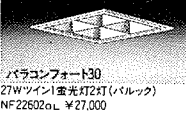
カタログを差し上げます。●カタログのご請求  
お問い合わせは 057-1 大阪府真珠市  
門真1048 松下電工 電機本部  
企画室 スクエアLED照明係  
0660000000

スクエア350シリーズ



パラコンフォート30  
28Wツイン1蛍光灯2灯(バルック)  
NF22712oL ¥37,500

スクエア250シリーズ



パラコンフォート30  
27Wツイン1蛍光灯2灯(バルック)  
NF22602oL ¥27,000

スクエア600シリーズ



パラコンフォート30  
55Wツイン1蛍光灯4灯(バルック)  
NF54710KexH ¥105,000

スクエア450シリーズ



パラコンフォート30  
36Wツイン1蛍光灯4灯(バルック)  
NF34710KexH ¥72,000

新光源ツイン蛍光灯を採用



低騒音、高効率を実現しました。  
省エネ、軽量化、チラツキカット、瞬時点灯、  
シリーズは業界初のインバータバラストを採用。  
方向性が出ません。さらに600・450  
シリーズは20W直管蛍光灯3灯用とそれ比較、当社比  
※600シリーズは40W直管蛍光灯6灯用と、450シリーズは40W直管  
蛍光灯3灯用と、350シリーズは20W直管蛍光灯4灯用と、250  
シリーズは20W直管蛍光灯3灯用とそれぞれ比較、当社比

店舗用照明器具

スクエア (600・450) シリーズ  
350・250  
ツイン蛍光灯採用